岐阜大学機関リポジトリ
Gifu University Institutional Repository

緑内障性視神経障害に対する非眼圧下降治療薬の開発ならびに本障害の成因探求

メタデータ	言語: Japanese
	出版者:
	公開日: 2008-03-12
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 杉山, 和久
	メールアドレス:
	所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12099/519

はしがき

現在緑内障治療として行われているものは眼圧下降療法がほとんどである。しかしながら、近年緑内障性視神経症に関する理解は近年大きく進み、緑内障は組織学的に篩板変形、視神経細胞およびアストログリアの変性・脱落を伴い、臨床的に視神経乳頭辺縁部の菲薄化と網膜神経線維層欠損として捉えられる特異な視神経症であり、眼圧はその特徴的な視神経症を発症・進行させる一つの要因に過ぎないとの認識が一般化している。この考え方に基づき、眼圧下降を介さないいわゆる神経保護的緑内障治療法が論じられている。

本研究では、神経保護的治療の可能性を探る目的で、まず、緑内障性視神経症の動物モデルの確立を目指した、次いで、そのモデルを用いて、各種薬物の緑内障性視神経症による網膜神経節細胞の細胞死の抑制が認められるかいなかの実験を行った。その結果、多様な薬物が緑内障に対して眼圧を解さずに神経保護効果を発揮することを見出すことができた。また、現実に存在する眼圧の正常な緑内障（正常眼圧緑内障）において、眼圧と関連のない予後因子を検討し、いくつかの眼圧非依存因子が有意に視神経症の予後と関連することを見出した。こうした研究を通じて、眼圧下降を介さない緑内障治療への展望を切り開くことができたものと考えている。

最後に、本研究にご助力をいただいた研究分担者ならびに研究協力者に感謝の意を表しますと共に、研究費補助金をいただいたことに対し文部科学省ならびに関係各位に深謝いたします。

研究組織

研究代表者　杉山和久（岐阜大学医学部眼科学）
研究分担者　山本哲也（岐阜大学医学部眼科学）
研究分担者　谷口徹　（岐阜大学医学部附属病院眼科）
研究分担者　川瀬和秀（岐阜大学医学部附属病院眼科）
研究分担者　内田英哉（岐阜大学医学部附属病院眼科）
研究協力者　北澤克明、富田剛司、澤田明、佐藤之英、近藤雄司、丹羽義明、川上秀昭、石田恭子、白木玲子、松原正幸、劉新毅、川瀬千鶴、篠原久司、谷照斌、Daugeliene L、北島康雄、雄山瑞栄、市橋直樹、高木肇、Harris A、Kagemann LE、植松俊彦、丹羽雅之、松野浩之

研究経費

平成 11 年度	６，８００千円
平成 12 年度	４，７００千円
平成 13 年度	３，０００千円
計	１４，５００千円

はしがき

現在緑内障治療として行われているものは眼圧下降療法がほとんどである。しかしながら、近年緑内障性視神経症に関する理解は近年大きく進み、緑内障は組織学的に篩板変形、視神経細胞およびアストログリアの変性・脱落を伴い、臨床的に視神経乳頭辺縁部の菲薄化と網膜神経線維層欠損として捉えられる特異な視神経症であり、眼圧はその特徴的な視神経症を発症・進行させる一つの要因に過ぎないとの認識が一般化している。この考え方に基づき、眼圧下降を介さないいわゆる神経保護的緑内障治療法が論じられている。

本研究では、神経保護的治療の可能性を探る目的で、まず、緑内障性視神経症の動物モデルの確立を目指した、次いで、そのモデルを用いて、各種薬物の緑内障性視神経症による網膜神経節細胞の細胞死の抑制が認められるかいなかの実験を行った。その結果、多様な薬物が緑内障に対して眼圧を解さずに神経保護効果を発揮することを見出すことができた。また、現実に存在する眼圧の正常な緑内障（正常眼圧緑内障）において、眼圧と関連のない予後因子を検討し、いくつかの眼圧非依存因子が有意に視神経症の予後と関連することを見出した。こうした研究を通じて、眼圧下降を介さない緑内障治療への展望を切り開くことができたものと考えている。

最後に、本研究にご助力をいただいた研究分担者ならびに研究協力者に感謝の意を表しますと共に、研究費補助金をいただいたことに対し文部科学省ならびに関係各位に深謝いたします。

研究組織

研究代表者　杉山和久（岐阜大学医学部眼科学）
研究分担者　山本哲也（岐阜大学医学部眼科学）
研究分担者　谷口徹　（岐阜大学医学部附属病院眼科）
研究分担者　川瀬和秀（岐阜大学医学部附属病院眼科）
研究分担者　内田英哉（岐阜大学医学部附属病院眼科）
研究協力者　北澤克明、富田剛司、澤田明、佐藤之英、近藤雄司、丹羽義明、川上秀昭、石田恭子、白木玲子、松原正幸、劉新毅、川瀬千鶴、篠原久司、谷照斌、Daugeliene L、北島康雄、雄山瑞栄、市橋直樹、高木肇、Harris A、Kagemann LE、植松俊彦、丹羽雅之、松野浩之

研究経費

平成11年度	６，８００千円
平成12年度	４，７００千円
平成13年度	３，０００千円
計	１４，５００千円